

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成 27 年 7 月 16 日 (2015.7.16)

【公開番号】特開 2014-8943 (P2014-8943A)

【公開日】平成 26 年 1 月 20 日 (2014.1.20)

【年通号数】公開・登録公報 2014-003

【出願番号】特願 2012-149163 (P2012-149163)

【国際特許分類】

B 6 0 R 13/02 (2006.01)

【F I】

B 6 0 R 13/02 B

B 6 0 J 5/00 5 0 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 5 月 29 日 (2015.5.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 0】

請求項 4 に記載された本発明の車両用樹脂製トリムの構造は、請求項 1 ないし請求項 3 のいずれか一項に記載の車両用樹脂製トリムの構造において、前記一对の板状部が設けられた車両用樹脂製トリムがインナーパネル方向に移動する作用が生じた際に、前記インナーパネルに弾接された前記弾性部が変形した後に、前記一对の板状部の先端部が前記インナーパネルに突き当たることを特徴としている。

請求項 5 に記載された本発明の車両用樹脂製トリムの構造は、車両のインナーパネルに取り付けられる車両用樹脂製トリムの構造であって、前記インナーパネルの車内側の表面に先端を弾接させる振動防止部材が前記車両用樹脂製トリムの裏面に形成され、前記車両用樹脂製トリムに作用するインナーパネル方向の荷重に対して、前記車両用樹脂製トリムがインナーパネル方向に移動した際に、前記振動防止部材が前記荷重を弾性的に吸収し、弾性的に吸収しきれない荷重に対して、前記車両用樹脂製トリムがインナーパネル方向にさらに移動した際に、前記振動防止部材が前記インナーパネルの車内側の表面に突き当たって前記車両用樹脂製トリムを支持することを特徴としている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 9】

請求項 4 に記載された本発明の車両用樹脂製トリムの構造によれば、車両用樹脂製トリムがインナーパネル方向に移動する作用が生じた際、すなわち、ドアの開閉時の開閉操作や走行時の振動などにより車両用樹脂製トリムがインナーパネルに当接した際には、前記インナーパネルに弾接された弾性部が変形した後に、一对の板状部の先端部が前記インナーパネルに突き当たるので、弾性部で吸収しきれない大きな荷重が作用したときに、一对の板状部の先端部がインナーパネルに突き当たった状態になり、前記一对の板状部がインナーパネルを支持する。このように一对の板状部がインナーパネルを支持するので、一对の板状部の先端部がインナーパネルに突き当たった時点で弾性部の変形を規制することができ、弾性部の破損を防止することができる。

また、車両用樹脂製トリムの意匠面側から、弾性部で吸収しきれない大きな荷重が作用したときにも、一对の板状部がインナーパネルを支持するので、車両用樹脂製トリムが窪むのを抑制することができ、車両用樹脂製トリムの剛性を向上させることができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

請求項 5 に記載された本発明の車両用樹脂製トリムの構造によれば、車両用樹脂製トリムがインナーパネル方向に移動する作用が生じた際、すなわち、ドアの開閉時の開閉操作や走行時の振動などにより車両用樹脂製トリムがインナーパネルに当接した際には、振動防止部材が弾接的に変形した後に、振動防止部材がインナーパネルに突き当たるので、弾性的に吸収しきれない大きな荷重が作用したときに、振動防止部材がインナーパネルに突き当たった状態になり、振動防止部材がインナーパネルを支持する。このように振動防止部材がインナーパネルを支持するので、振動防止部材がインナーパネルに突き当たった時点で弾性的な変形を規制することができる。

また、車両用樹脂製トリムの意匠面側から、弾性的に吸収しきれない大きな荷重が作用したときにも、振動防止部材がインナーパネルを支持するので、車両用樹脂製トリムが窪むのを抑制することができ、車両用樹脂製トリムの剛性を向上させることができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0084

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0084】

また、本発明の一実施の形態にかかるドアトリム 13 の構造は、ドアトリム 13 がインナーパネル方向に移動する作用が生じた際、すなわち、フロントサイドドア 2 の開閉時の開閉操作や走行時の振動などによりドアトリム 13 がインナーパネル 15 に当接した際には、前記インナーパネル 15 に弾接された弾性部 45 が変形した後に、一对の板状部 43 の先端部が前記インナーパネル 15 に突き当たるので、弾性部 45 で吸収しきれない大きな荷重が作用したときに、一对の板状部 43 の先端部がインナーパネル 15 に突き当たった状態になり、前記一对の板状部 43 がインナーパネル 15 を支持する。このように一对の板状部 43 がインナーパネル 15 を支持するので、一对の板状部 43 の先端部がインナーパネル 15 に突き当たった時点でそれ以上の弾性部 45 の変形を規制することができ、弾性部 45 の破損を防止することができる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0085

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0085】

また、ドアトリム 13 の意匠面 18a 側から、弾性部 45 で吸収しきれない大きな荷重が作用したときにも、一对の板状部 43 がインナーパネル 15 を支持するので、ドアトリム 13 が窪むのを抑制することができ、ドアトリム 13 の剛性を向上させることができ商品性を向上させることができる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

車両のインナーパネルに取り付けられる車両用樹脂製トリムの構造であって、
前記車両用樹脂製トリムの裏面には、前記インナーパネルに当接する振動防止部材が形成され、

前記振動防止部材が、前記裏面に対して略垂直方向であって前記インナーパネルに向かって平行に突出された少なくとも一對の板状部を備え、

前記一對の板状部の先端部には、当該先端部の双方に連結されて前記インナーパネルに対して弾性変形可能に弾接する弾性部が設けられ、かつ、

前記一對の板状部および前記弾性部が、前記車両用樹脂製トリムとともに一体成形されていることを特徴とする車両用樹脂製トリムの構造。

【請求項 2】

前記弾性部における前記一對の板状部との両連結部間が、前記インナーパネルに向かって突出する彎曲形状に形成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の車両用樹脂製トリムの構造。

【請求項 3】

前記一對の板状部と前記弾性部との連結部が、変形しやすいことを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の車両用樹脂製トリムの構造。

【請求項 4】

前記一對の板状部が設けられた車両用樹脂製トリムがインナーパネル方向に移動する作用が生じた際に、前記インナーパネルに弾接された前記弾性部が変形した後に、前記一對の板状部の先端部が前記インナーパネルに突き当たることを特徴とする請求項 1 ないし請求項 3 のいずれか一項に記載の車両用樹脂製トリムの構造。

【請求項 5】

車両のインナーパネルに取り付けられる車両用樹脂製トリムの構造であって、

前記インナーパネルの車内側の表面に先端を弾接させる振動防止部材が前記車両用樹脂製トリムの裏面に形成され、

前記車両用樹脂製トリムに作用するインナーパネル方向の荷重に対して、前記車両用樹脂製トリムがインナーパネル方向に移動した際に、前記振動防止部材が前記荷重を弾性的に吸収し、弾性的に吸収しきれない荷重に対して、前記車両用樹脂製トリムがインナーパネル方向にさらに移動した際に、前記振動防止部材が前記インナーパネルの車内側の表面に突き当たって前記車両用樹脂製トリムを支持することを特徴とする車両用樹脂製トリムの構造。